

# 一般会計

歳入 **205億1,136万円**

自主財源	市税	32億7,124万円(15.9%)	市民税・固定資産税・軽自動車税など
	前年度繰越金 ／使用料／手数料等	19億2,131万円(9.4%)	前年度から繰り越したお金と、市営住宅家賃や公共施設の利用率、証明書発行手数料など
依存財源	地方交付税	76億4,294万円(37.3%)	自治体が標準的な行政サービスを行うために国から配分されるもの
	国庫支出金	32億1,696万円(15.6%)	特定の事業の財源として、国が自治体に交付する補助金など
	市債	19億1,248万円(9.3%)	施設の建設や土木工事の経費等を、金融機関などから借り入れるもの
	県支出金	15億 385万円(7.3%)	特定の事業の財源として、県が自治体に交付する補助金など
	地方譲与税・交付金等	10億4,258万円(5.2%)	国・県が徴収した特定の税収を一定の基準で自治体に交付するもので、地方消費税交付金など

歳出 **199億8,036万円**

人件費	41億5,661万円(20.8%)	職員(会計年度任用職員を含む)の給料や議員報酬など
建設事業/維持修繕費	35億 912万円(17.6%)	道路や建物などの整備・建設・維持補修にかかる経費
扶助費	33億8,375万円(16.9%)	生活保護費や医療費、児童手当など
物件費	25億8,977万円(13.0%)	備品購入費、公共施設の維持管理委託料や光熱費など
補助費等	24億2,490万円(12.1%)	企業会計、各種団体への負担金・補助金など
繰出金	16億9,293万円 (8.5%)	特別会計へ支出する経費と一部事務組合への負担金
公債費	16億7,642万円 (8.4%)	市債(借金)を返済するための経費
積立金	5億4,686万円 (2.7%)	基金(貯金)へ積み立てをするもの

3年度に比べ、増額となった建設事業/維持修繕費については高規格道路関連周辺整備事業、夜須認定こども園整備事業、岩松橋や新宮深淵線の整備などを含む道路新設改良事業などが主なものです。

**POINT!**



令和4年度決算が令和5年第109回香南市議会で認定されました。毎年公表される決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。令和4年度にどれだけのお金をどのように使ったのかお知らせします。

企画財政課 ☎57-8502

## 令和4年度のまとめ

実質収支 **3億7,560万円 黒字**

歳入	205億1,136万円
-) 歳出	199億8,036万円
-) 繰越事業費*	1億5,540万円
実質収支	3億7,560万円

※令和4年度から5年度に繰り越した事業の財源となるもの

前年度比 歳入 3億5,075万円 減 ↓  
歳出 2億2,979万円 減 ↓

令和3年度に実施した香南BIGカーニバル事業、子育て世帯臨時特別給付金事業などの終了が歳入・歳出ともに減額となった主な要因です。

CHECK!

## 市の財政運営は健全?

国は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で市の財政破綻を早期に回避するため、健全に財政運営をできているかの目安を定めています。

健全化判断比率	実質公債費比率	借金返済額の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	香南市	早期健全化基準
	将来負担比率	市が抱える負担の残高から将来の財政への圧迫度を見る比率	4.7% (前年度比+0.1)	25.00%
			資金不足の兆候なし	350.0%

※会計の赤字割合から財政の深刻度をみる「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」、企業会計(水道料など)の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる「資金不足比率」に関しては赤字なしで基準値を下回っています

**POINT!**

4年度は夜須認定こども園整備事業に伴う借入などにより一時的に市債残高が増加。会計全体では健全に運営できています!



### 市債(借金)返済

- ▶ 返済額は**16億7,641万円**  
(前年度比-2億4,866万円)
- ▶ 市債残高は**164億863万円**  
(前年度比+2億7,884万円)

### 基金(貯金)積立

- ▶ 積立額は**5億4,686万円**  
(前年度比-1億9,295万円)
- ▶ 積立総額は**124億4,989万円**  
(前年度比+2億7,057万円)

この基準を下回れば健全運営の証!